

越前市 消防団

第75回 福井県消防操法大会が開催！

ポンプ車操法の部

酷暑の中、王子保分団健闘



第75回福井県消防操法大会が7月18日、福井県消防学校にて開催されました。大会には、県内各消防組合（局）から選抜された代表分団、計7分団が出場し、日頃の訓練で培った操法技術を競い合いました。

南越消防組合の代表としては、王子保分団が「ポンプ車操法の部」に出場しました。同分団は、規律・迅速性・安全性・連携、そして放水技術など、操法に求められる各要素が厳しく審査される競技に臨み、緊張感漂う会場の中で力強い号令を響かせました。

競技では、ポンプ車の操作からホース延長、放水に至るまでの一連の動作を正確かつ迅速に行うことが求められます。各分団が真剣な表情で操法を展開する中、王子保分団は競技直前に負傷者が発生するアクシデントに見舞われました。突然の事態により選手変更を余儀なくされましたが、団員らは気持ちを一つにし、役割を再調整して競技に臨みました。

想定外の状況を乗り越えながらも、これまで積み重ねてきた訓練の成果を十分に発揮し、力強い動作と確実な連携を示した姿は、団員同士の強い団結力を感じさせるものとなりました。

分団長 青木 充

今年の第75回福井県消防操法大会は我が分団にとって18年ぶりの出場でした。前回の大会を経験している私にとって、訓練の厳しさやサポート体制の大変さが身にしみて分かっているだけに最初は不安な気持ちでいっぱいでしたが、4月からの自主訓練、事前訓練、本訓練と7月中旬まで約50日間、選手達は操法の向上を目指して懸命に練習を続けてくれました。又、サポートの団員においても、本訓練の30日間、早朝から駆けつけてくれ、王子保分団が一体となって大会に臨むことが出来たと思っています。迎えた大会当日は大変な猛暑日で、選手が体調を崩すなど決して満足のいく結果ではありませんでしたが、選手は全力を出し尽くしてくれました。最後に、高橋団長をはじめ、越前市消防団の皆様、黒田、高橋両指導教官をはじめとする消防職員の皆様には、訓練中の温かい激励と過分なるご支援を賜りありがとうございました。心より感謝申し上げます。

指揮者 小泉 範和

まず、ポンプ車操法出場に際し沢山の方々からご支援、激励をいただきまして誠にありがとうございました。4月から始まった自主訓練では、全選手が規律や動作の習得に前向きに取り組み、また本訓練でも基準タイムに迫れるよう選手一人ひとりが不安要素を取り除くための練習を行っていました。その姿勢は指揮者として大変心強く感じたと同時に尊敬できるものでありました。もちろん分団長をはじめとした分団員のサポートも支えとなり、3ヶ月間を乗り切れたことも大変ありがたく、分団の結束力を改めて感じる事が出来たことは言うまでもありません。今後は操法で学んだことを分団内で共有し消防活動に活かせるよう、団員訓練などで伝えていきたいと思います。最後になりますが、黒田司令補、高橋士長、お二人の人柄が選手のやる気を引き出し、メリハリのある充実した訓練となりました。ご指導本当にありがとうございました。

1番員 吉田 優也

操法大会の1番員になり、本訓練の実際の通し訓練では管鎗から出てくる水圧に驚き、自分にできるのかと最初はすごく不安でした。しかし、青木分団長はじめ、団員の皆さんが、早朝から準備や後片付けをしてくれている姿を見て、自分がやらなければと、日を重ねるごとに思いが強くなりました。また、高橋、黒田指導員から礼式や所作を丁寧に指導していただき、大会の日が近づくにつれ不安は自信へと少しずつ変わっていきました。大会当日は、暑い中応援に来てくださった皆さんの声援が力になりました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

2番員 東川 純

熱心かつ丁寧に指導して頂いた黒田・高橋両指導員をはじめ、早朝にも関わらず、訓練のお手伝いをして頂いた団員の皆さん、応援に来て頂いた関係者各位には心より感謝申し上げます。

本番では暑さやアクシデントもあり、いい結果は出せませんでしたが、みんなが助け合い、励まし合って厳しい訓練を乗り越えた時間は、学生時代に部活動へ熱中していた頃を思い出し、より一層かけがえのないものだと感じました。王子保分団、最高のチームです！

3番員 鈴木 孝幸

ポンプ車操法の選手に選ばれた時から、楽しみはありましたが、それを上回るくらい、自分でいいのかというストレスや不安がありました。学生の時から普段ほとんど運動らしい運動をしてこず、今年で49歳ということもあり、特に体力面においても不安がありました。ですが、力を抜くところは抜き、出すところはベテランらしくうまく加減しながら、なんとか最後まで務めることができました。

大会当日の操法に関しては多くのミスをして皆の足を引っ張ってしまい大変申し訳なく、もっと練習をしておけばよかったと悔いが残りましたが、この数カ月間とても貴重な経験をさせていただきました。

ご指導いただいた黒田・高橋両指導員をはじめ、温かく見守ってくださった分団長、副分団長、一緒になって頑張ってくれた選手たち、サポートしていただいた分団員の皆さん、家族たちに心から感謝いたします。ありがとうございました。

4番員 伊藤 修一

ポンプ操法大会への出場が決まり、スケジュールを渡された時は、最後までやり遂げられるかという不安な気持ちでいっぱいでした。

練習当初は、基準タイムまでの道のりがあまりにも遠く感じられ、その目標の高さを痛感しました。しかしメンバー全員で一つ一つの課題に向き合い、試行錯誤を重ねた結果、練習最終日に基準タイムをクリアすることが出来ました。その瞬間の達成感は今でも忘れられません。

大会当日はアクシデントもありましたが全員で最後までやり切ることができ、大きな充実感を得ることができました。

最後まで優しくご指導頂いた黒田・高橋両指導員をはじめ、献身的に応援・サポートしてくださった消防職員、分団員の皆様に心より感謝申し上げます。

記録以上に仲間と共に過ごしたこの充実した時間は、私にとって大切な記憶となりました。

補助員 上良 俊夫

消防操法大会に向け、約50日間、延べ100時間にわたり訓練に励んできました。しかし本番当日の練習中に足を痛めてしまい、三番員として出場することができず、補助者としての参加となりました。

急遽、三番員を務めてくださった鈴木さんには、限られた時間の中でも最後までやり遂げていただき、心から感謝しています。

また、他の出場メンバーの皆さんが積み重ねてこられた努力を、私の不注意で十分に発揮できない形となってしまい、大変申し訳なく思っています。

それにも関わらず、温かい声を掛けて頂いたことを深く感謝しています。

さらにご指導頂いた消防職員の皆様、分団長・副分団長をはじめ王子保分団員の皆様に対しても、良い結果を残すことができずに申し訳なく思っております。

結果としては悔いの残る内容となりましたが、仲間を支えられて大会を終えられたことは大きな経験であり、この操法大会を通じて、ようやく自分が王子保分団の一員になれたのではないかと感じています。



令和8年度 新入団員紹介

4月に入団された団員を紹介します。

No.1	
分団名 氏 名 ①自分の強みや得意なこと ②消防団のイメージ ③リフレッシュ方法 ④自分が大切にしているもの	分団名 大虫分団 氏 名 上田 吉映 ① ボクシングで鍛えています ② 消火軍団 ③ ボクシング ④ 家族

No.2	No.3
分団名 大虫分団 氏 名 坂本 陵介 ① 明るさ ② わかりません ③ ゲーム ④ 人とのつながり	分団名 大虫分団 氏 名 糀谷 幸彦 ① 掃除 きれいにすること ② 厳しくて強いイメージ ③ 散歩 ウォーキング ④ 気遣い

No.4	No.5
分団名 栗田部分団 氏 名 石本 明廣 ① まじめに取り組む姿勢 ② 安全・安心 ③ バイクツーリング ④ 家族	分団名 東分団 氏 名 三好 大輝 ① 料理 ② 地域を守る ③ ゴルフ ④ 3歳と1歳の娘

No.6	No.7
分団名 東分団 氏 名 上木 暁雄 ① 筋トレ ② 大変 ③ 筋トレ ④ 筋トレ	分団名 味真野分団 氏 名 三田村 建都 ① 忍耐力 ② 地域密着・助け合い ③ 風呂 ④ 思いやり

～「ふくいキッズはぴはぴ祭り」に参加～ 式部さくら分団

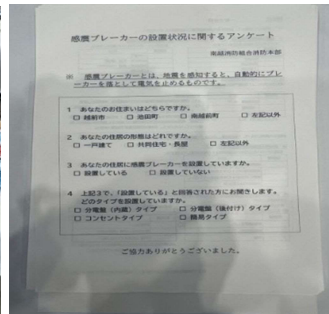
アンケートコーナー



令和8年5月3日（日）越前市たけふ中央公園まさかりどんの館において「ふくいキッズはぴはぴ祭り」に消防防災に関する予防広報活動として式部さくら分団団員が参加しました。コーナーは3箇所に分かれていて、1つ目は、アンケートコーナーです。

2つ目は、消防士の衣装コーナーです。

そして3つ目は、水消火体験です。



アンケートに答えていただくと素敵なプレゼントを差し上げます。アンケートは団員が丁寧に説明してくれました。

消防士の衣装を着て消防車の前での写真撮影は大人気です。年齢問わず、こどもから大人までみんな嬉しそうでした。家族みなさんの良き思い出になったと思います。

大人気!! 衣装コーナー



水消火体験



水消火訓練では、なかなか的にまで水が届かず苦勞していた子が多かったです。でもみんな最後まで諦めず一生懸命頑張っていました。最後まで的を倒さないと終われない感じがみられましたが、火を消すことは難しいことが実感できたと思います。